

健康 コラム

住み慣れた地域で 暮らし続けるために — 入退院支援看護師の役割 —



みうら あけみ

秋田厚生医療センター 入退院支援室 三浦 明美

入退院支援看護師という言葉に耳にしたことはありませんか？

当院の「入退院支援室」が設置されてから5年が経過し、現在入院支援看護師3名、退院支援看護師5名が在籍しています。設置当初から患者さんが不安なく入院でき、退院後も必要な医療や介護を受けながら、住み慣れた地域で安心安全に暮らす事ができるようお手伝いさせて頂いております。

これまで何事もなく暮らしてきた人でも、病気になる通院や入院をしなければならなくなった時には、様々な困った状況や問題が起きてくる事があります。特に秋田県は、超高齢化社会に突入しているため「独居」や「夫婦2人のみ」の高齢者世帯が多く、退院時何らかの支援が必要と予測される患者さんが入院してきます。

そこで入退院支援看護師の出番となります。

入院を支援する看護師とは

検査や治療のため入院予約された患者さんを対象に、必要な書類や入院生活の説明に加え患者さんの生活状況やご要望・不安等

をお伺いしています。入院前から入院中の経過や退院後のイメージができ、安心して入院日を迎えられる事が一番の目的ですが、他に退院困難になりうる患者さんを想定し、病棟・退院支援看護師と情報共有し、より良い療養生活を送れるように努めています。

令和4年4月より、新たに個室を整備し落ち着いて説明が聞ける環境になりました。入院に際して不安な方、困りごとがある方は是非お立ち寄り下さい。

退院を支援する看護師とは

入院された患者さんを対象に、退院支援が必要となる患者さんを入院早期から退院後の生活を視野に入れた退院支援を行っています。

支援の第1段階は、退院支援が必要な患者さんを把握する事から始まります。入院初期から入院前の生活全般や家族背景・住環境・介護状況等を伺い、退院時の問題となる要因の有無を確認します。

第2段階は、退院支援の方向性を見極めるため病棟看護師、退院支援看護師、医療ソーシャルワ

カー等、退院困難な要因に対してどんな支援が必要となるか相談します。療養場所によっては介護保険の申請や福祉サービスが必要となるため、専門の職種へつなぎ情報提供や必要な場合は代行申請を行います。

第3段階は、患者さん・ご家族のご希望に沿った療養先に退院できるよう、退院後に使用する制度やサービスの調整に入ります。退院前には院外からもケアマネージャーや相談員、ご家族の方に参加してもらい事前訪問やカンファレンスを開催します。退院前カンファレンスでは、入院中の生活状況や必要な処置、退院後の注意点等を情報共有し、退院後も安心安全に生活できるよう努めています。

今では、病気や障害を抱えた高齢者の方も、様々な制度や福祉サービスを組み合わせ、一人でも生活できるようになってきました。

今後も医療と介護が途切れることなくつながり、患者さんが安心して住み慣れた地域で暮らせるよう関連機関と密接に連携し支援していききたいと思います。